

# 木造住宅の耐震改修に 補助金 3000 万円を増額



木造住宅の耐震改修補強工事（インターネット上より）

二戸当り  
60万円の  
五十戸分

一般会計の補正予算は、  
6月14日の本会議と各常任委員会に付託され審議されました。  
その結果、付託された議案は可決すべきものと決定し、最終日に開かれた本会議で可決しました。  
木造住宅耐震改修や防災資機材の整備、電気自動車の購入など、  
いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

## 6月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	5064万円	254億2464万円

# 公用車購入費とあるが

**問** 保健衛生費に公用車購入費とありますが、これは検診用車両の1台のみですか。

**市民生活部長** この車両は、市内に住所を有する生後4カ月までの乳児のいる家庭を訪問するため、甚目寺保健センターに環境に配慮した電気自動車を購入する費用です。

**問** 対象者はどれくらいみえますか。また訪問の内容を教えてください。

**健康推進課長** 1年間に出生される人数は、大体800人です。平成22年度は、607人の新生児のお宅を訪問しています。妊婦さんは、18人の訪問をしています。中には赤ちゃん事業として、健康診査、保健指導などにより親子の状況を確認し、対象家族が育児に対する不安や悩み

を把握したり、子育て支援に関する情報提供をしたり、母子の心身の状況や養育環境などの把握及び助言、母子の孤立化及び育児不安による児童虐待防止をするものです。

**問** 電気自動車を走らせるためには経費も上がらないという考えで受け入れられるのですか。

**市民生活部長** 購入を予定している電気自動車は、温室効果ガスの原因となります二酸化炭素や、大気汚染の原因とな



あま市七宝町の宝小學校に備蓄の非常食

る窒素酸化物や粒子状物質を走行中に一切発生しない環境に配慮した車であることと、ガソリン料金が比べ充電に要する電気が約3分の1になり、維持費の削減にもつながるので、導入します。

## 防災資機材、災害時食料備蓄の内容と数量は

**問** 防災資機材整備費、

災害時食料備蓄費の中の消耗品の内容と数量ですが、何カ所どこに保管していますか。また、非常食の回転は何年で、おむつは、何年ぐらいで交換していきますか。

**総務部長** 防災資機材整備費は、東日本大震災の被災地へ送付した災害備蓄品を補充するものです。

内容は、組織用トイレセットが3200回分、

子供用のおむつが約3000枚、大人用おむつが約2000枚、ブルーシート約300枚と飲料水袋2400枚を購入し、災害時食料備蓄費は、アルファ米約1万5000食を補充するものです。

災害備蓄品、非常食などの保管場所は、七宝地区で13カ所、美和地区で15カ所、甚目寺地区で13カ所の計41カ所に備蓄しています。避難所などに備蓄しています。

非常食などの保存期間は、アルファ米、カンパンなどは5年で更新しています。おむつは、日本衛生材料工業連合会によると、使用期限は設けていませんが、未開封であれば3年ぐらいは大丈夫とあります。現在、おむつは、定期的な更新を実施していませんので、今後は定期的に更新していきたいと思います。

都市計画課（七宝庁舎）にある木造住宅耐震改修の窓口



**建設産業部次長** 新たな申し込みがあればということですが、今年度、1件ありまして、東日本大震災とかで、この機会に耐震をしたいということが必要があれば、随時受け付けをしたいと思っています。

**問** 木造住宅耐震改修の補正が組まれるまでになつてきた原因やその分析はされていますか。

**建設産業部次長** 今回、たくさんの申し込みを3月末に受けたわけですが、その理由として、補助金が30万円、経済対策の関係で増えたということ、地震の関係で、新聞報道などで相当PRをしていただき増えたと思っています。

また、耐震改修とあわせてリフォームといいますが、内装関係もあわせて実施している方は、見積書を見ると多いようです。

**問** 木造住宅耐震改修補助ですが、東日本大震災により住民の意識がかなり変わったと思います。が、現在の件数と今までの実施件数は何件ですか。

**建設産業部長** 平成22年度の緊急耐震改修の申し込みは、3月25日の締め切り日までに57件ありました。今現在の交付申請手続の件数は4件です。

**問** 今後、50件を超えた場合を考えていますか。